

2020年10月30日

各 位

会社名 竹本容器株式会社
代表者名 代表取締役社長 竹本 笑子
(コード番号：4248 東証第一部)
問合せ先 執行役員 経営企画室長 戸田 琢哉
(TEL. 03-3845-6107)

通期連結業績予想の修正及び減損損失の計上に関するお知らせ

当社は最近の業績の動向を踏まえ、2020年1月31日に公表した通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。また、2020年12月期（2020年1月1日～2020年12月31日）において、固定資産の減損損失の計上を行う見込みとなりましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想の修正について

2020年12月期 連結業績予想数値の修正（2020年1月1日～2020年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	15,500	1,600	1,600	1,100	87.80
今回修正予想（B）	14,600	1,650	1,660	400	31.93
増減額（B－A）	▲900	50	60	▲700	
増減率（％）	▲5.8%	3.1%	3.8%	▲63.6%	
（ご参考）前期実績 （2019年12月期）	15,196	1,538	1,575	1,043	83.31

2. 通期業績予想の修正理由

2020年12月期の通期連結業績につきましては、売上高は新型コロナウイルス感染症の影響による化粧品業界向け需要の減少等により前回発表した予想数値を下回る見込みです。

利益につきましては内製化努力等による生産性の向上、樹脂原材料価格の低下、人件費関連費用・減価償却負担の減少等により、営業利益、経常利益は前回発表した予想数値を上回る見込みです。また、「3. 減損損失の計上について」に記載のとおり、固定資産の減損損失により親会社株主に帰属する当期純利益は前回発表した予想数値を下回る見込みです。

なお、2020年12月期の期末配当金予想額の変更はありません。

3. 減損損失の計上について

当社グループのインド子会社における固定資産について、現在の事業環境の変化を踏まえ、将来の回収可能性を検討した結果、2020年12月期第4四半期において約6億円を減損損失として計上する見込みとなりました。

(注) 本資料に記載されている予想数値は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上